

★毀損^{きそん}される（壊れてゆく）生存権

―この不況下、憲法第二十五条の生存権がこわれてゆく―

●アメリカに端を発した未曾有の世界同時不況。この中で非正規社員などが、どんどん首を切られ生存権が奪われていっています。

★失業者3万人、その中味は？

◆来年3月までに、3万人以上の失業者が出ると言われています。企業が日雇い派遣労働者や臨時工などいわゆる非正規雇用者を一斉に雇い止めるからです。

◆これらの人達に、雇用主は雇用保険も掛けておらず、首になれば翌日から即収入がストップします。さらに会社の寮も追い出されるのです。食べるものもなく、住むところもなくなるのです。

◆これは貧富の格差の問題を超えて、憲法第二十五条に保証されている「生存権」が奪われていっていることを意味します。

★なぜ、こんなことになったのか

◆二〇〇四年、小泉政権は今まで限定業種にしか認めていなかった派遣等いわゆる非正規社員制度を、財界の要望にこたえて一気に規制緩和しました。これにより日雇い派遣労働者など非正規社員が激増したのです。

◆これらの人達は、いつでも首を切れる、雇用保険は掛けなくていい、賃金の消費税も払わなくていいという企業にとってまさに都合のよい働き手です。

◆しかも、政府は企業の法人税を安くし儲ける仕組みを作りました。これが構造改革の中味であり、生存権毀損の原因です。

★人間を大切に政治を

◆先ず企業はこのような首切りをしないこと、政府には今すぐこれらの人達を救うセーフティネット（救済策）を実行することを求めます。そして、人間を救い捨てにするような制度を改める事を求めます。

究極のバラマキと言われる定額給付金（2兆円）より先ではないでしょうか。

◆残念ながら、私たち国民は前の選挙でこのような政治を行う人達を選んでしまいました。間もなく総選挙が行われると言われています。今度こそ人間を大切に、平和を守る人達を選ぼうではありませんか。

二〇〇八年十二月十四日（日）

第五〇二回憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五

★月例護憲平和行進

毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

●ご通行中の皆さん、ドライバーの皆さん、こんにちほ。歩き続けて四二年。ただいま、「浜松市憲法を守る会」の第五〇二回目の平和行進を行っています。

●私たちは今まで、主に平和の問題を訴えてきました。しかし、今回はもう我慢が出来ず、企業に使い捨てにされる人達の生存権の問題を訴えます。これは憲法第二五条に保証されている基本的人権だからです。

●いま未曾有の不況の中で、派遣労働者や臨時工など、いわゆる非正規雇用者がどんな首を切られています。この人達は翌日から収入がストップし、住むところもなくなるのです。このような人が、来年3月まで3万人が失業すると言われています。

●マスコミでは、これらは不況が悪い、首を切る企業が悪いと報じられています。直接的にはその通りですが、実はもつと根本的な問題があるのです。

●2004年小泉内閣は、派遣社員など今まで特定の業種にしか認められていなかった非正規雇用者を一気に解禁しました。これが構造改革の中味です。

●これは企業にとつてとても都合のいい改革でした。いつでも首を切れる、雇用保険は掛けなくていい、賃金に消費税を払わなくてもいい、といった願ってもない制度です。

●しかし、使い捨てされる労働者はたまったものではありません。それがこの不況で一気に問題化したのです。

●政府は、このような人にセーフティネット(救済策)は全く用意していませんでした。労働者を人間として認めず、企業の都合ばかり考えて来たのです。

●私たちは先ず、このような、人間を使い捨てにするような制度を改める事を求めます。そして、今すぐこれらの人達を救うセーフティネット(救済策)を実行すること求めます。究極のバラマキと言われる2兆円もの給付金のばらまきより先ではないでしようか。

●一方で税金の無駄遣いが復活しました。前の内閣は税金の無駄遣いの象徴的存在の道路特定財源を福祉や貧困対策にも使える一般財源とすることを国民に約束しました。

●それを麻生^{あそう}さんは、道路族の言い分をのんであっさり元に戻したのです。皆さん、1兆円ですよ。失業者3万人が約20年間食べてゆける金額です。庶民のことなど全く考えていません。

●残念ながら、私たち国民は、前の選挙でこのような政治を行う人達を選んでしまいました。間もなく総選挙が行われると言われています。今度こそ人間を大切にし、平和を守る人達を選ぼうではありませんか。